

## 人権の尊重と 働きやすい 職場環境の整備



## ■ 人権の尊重と働きやすい職場環境の整備

### 基本的な考え方

当社の財産はヒトであり、ヒトが成長することで会社も成長できるという基本的な考えのもと、高い志を持ち、何事にも積極的にチャレンジしていく集団であると自負しています。若手には積極的にチャンスを与え、困ったときにはバックアップする体制のもと、のびのびと社員が成長できる環境が整っています。社員こそが当社最大の強みと考えています。

### 制度や取り組み

定期健康診断の実施や産業医を交えての衛生委員会の開催に加え、社員の健康維持・増進および労働災害防止の観点から、専門医による面接・電話カウンセリングなどのメンタルヘルスのバックアップ体制も整えています。

また、当社のさらなる飛躍のため、ハラスメントのない自由闊達な職場「Good Workplace」を目指し、職場での不安や悩みも相談できる窓口「職場のハラスメントホットライン」を開設しました。

多様な人財、多様な価値観、多様な強みを持つ人財の一人ひとりがイキイキと活躍できるよう、ダイバーシティ&インクルージョンおよび「ワクエボ」(Workstyle Evolution)と称した働き方改革プロジェクトも引き続き活動しています。

また、女性活躍推進法をダイバーシティ推進の一環とし、女性が積極的にキャリアを積み、ますます活躍できるようになる取り組みも進めています。

当社の女性活躍推進法に基づく行動計画はWebサイトで開示しています。

(<https://www.smauto.co.jp/company/csr/positive/index.html>)

### 【スーパーフレックス制度の導入】

当社は、2021年1月よりコアタイムのないスーパーフレックス制度を導入いたしました。テレワーク制度は2018年10月に導入し、これまでも時間や場所にとらわれない多様な働き方を推進していましたが、スーパーフレックス制度によりさらにこれを加速させてまいります。

### 【レンタルオフィスの導入】

コロナ禍で自宅でのテレワークが続く中、次世代の働き方や業務のあり方を模索するため、当社は2020年6月に社員アンケートを実施しました。アンケート結果より、効果的なオフィス形態のあり方、時間や場所にとらわれないより柔軟で多様な働き方などの施策として、9月より首都圏エリアにて、レンタルオフィスのトライアルを実施しました。レンタルオフィスは、会社・自宅に次ぐ「第三の働く場所」として、営業途中のすき間時間での活用、資料作成などで利用しています。トライアルでの有用性が実証できたことから、2021年度より正式導入いたしました。

